

第14回

理由を加えて説明しよう

講師

阿野 幸一

◆◆◆ 今回の目標 ◆◆◆

英語でのスピーチでは、自分の考えや気持ちに加えて、その理由を説明すると内容がふくらみ、言いたいことがはっきりと伝わります。今回は、自分が夢中になっていることをテーマにしたスピーチを例に、becauseの使い方を取り上げます。

スキットもプレゼンの準備という場面での会話です。言葉の背景にある文化の違いにスポットを当てて、英語コミュニケーションで誤解を招きやすい日本の謙遜表現について考えます。

1 スキットの内容から



2人の会話がなぜ、気まずい感じになったのかを考えてみましょう。

プレゼンの準備



教室でTaketoが夢中で何かに取り組んでいると、Mariaが気になって声をかけます。

Maria : What are you doing, Taketo?

Taketo : I'm preparing for my English presentation next week.

Maria : How's it going?

Taketo : It's going OK. To speak English in front of others is very difficult for me.

Maria : Oh, but your English is so good!

Taketo : No, no. My English is bad.

Maria : What? Why do you say that?

## 2 文法・表現 文の形を整える it



It を主語にして文をはじめると文全体のバランスがよくなるよ！

次の文では、主語の部分が長くなってしまいます。

To learn English communication is very important.

(英語コミュニケーションを学習することはとても大切です)

そこで、To learn English communication という文の主語に当たる部分の代わりに it で文をはじめて、主語にあたる部分 を文の後ろに持っていく次の文のような形が、英語では多く使われます。

It is very important to learn English communication.

これは、It's nice to meet you. (あなたにお会いできて光栄です)

という挨拶表現と同じ文の形ですね。

◀ さらに、この文に意味上の主語を加えて、誰にとってそうなのかを伝えたいときには、

It is very important for me to learn English communication.

(英語コミュニケーションを学習することは、私にとってとても大切です)

と、表現することができます。

目的外的の  
使用禁止

### 3 言葉の背景にある文化の違いを知ろう！



日本の謙遜表現をそのまま英語にしてしまうと通じません！

Maria が Taketo を、Your English is good! とほめたのに対して、Taketo はどう受け答えたらよかったのでしょうか？日本では自然にわかり合える言い方でも、それをそのまま英語にして伝えてしまうと、相手に理解してもらえないばかりか、不快な印象を与えてしまうこともあります。

異なる文化を背景とする人たちとのコミュニケーションでは、どんなことが必要なのかを考えます。

#### 英語では気持ちをストレートに！

みなさんは誰かの家に訪問するときなどに手土産を持っていったり、旅行に行って買ってきたお土産を手渡したりするときどのような言葉を添えますか？よく耳にするのが、「つまらないものですが」という言い方です。でも、「つまらないもの」と思って買っているわけではなく、渡す相手に喜んでもらおうと思って考えながら選んでいますよね？

日本の文化では、こうして謙遜した表現を使うことで丁寧さを表していますが、このニュアンスのまま英語にしてしまったら、「どうしてつまらないものを私にくれるんだろう」と思われてしまう可能性があります。大きな誤解が生じてしまいますよね。

では、英語ではどのような言葉を使うでしょうか？

This is a present for you. I hope you like it.

このように言う場合が多いと思います。ここでは、謙遜するのではなく、気に入ってもらうことを願う気持ちを伝えていますね。

Maria が Taketo の英語をほめた際にも、せっかくほめてくれた Maria の気持ちを否定するのではなく、まずは Thank you! とお礼を言ってから、I'm happy to hear that. のように自分の気持ちを伝えることで、英語らしい自然なコミュニケーションを行うことができます。

言葉の背景には、その言葉を使う人たちの文化があります。その文化の特徴を知ること、お互いのことを大切に思う気持ちを伝えるコミュニケーションを行うことができるのです。



## 4 文法・表現 because を使って理由を伝えるには？



接続詞 because の使い方をマスターしよう！

「自分が夢中になっていること」をテーマにした湘南学園の高校生たちのスピーチでは、because を使ってこんな説明がありました。



I have long hair **because** I'm learning hula.  
(私が長い髪をしているのは、フラダンスを習っているからです)



I want to spread sado all over the world **because** it can teach us important things in life.  
(私が茶道を世界中に広めたいと思っているのは、茶道が私たちに人生の大切なことを教えてくれるからです)



Lately I started drawing pictures on my tablet **because** it is fun for me to draw pictures using many functions.  
(私が最近タブレットで絵を描き始めたのは、たくさんの機能を使って作画するのが楽しいからです)

## 理由を伝える since と because

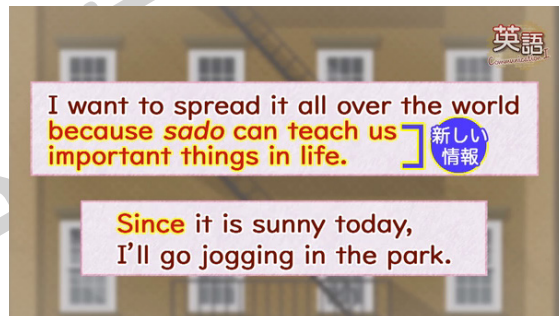
理由を表すときに使う since と because、皆さんはどのように使い分けていますか？

Since it is hot today, I will go swimming.

(今日は暑いので、泳ぎに行きます)

の文では since を使って理由を示しています。

「外は暑い」というのが理由ですが、外が暑いことは、話し手にも聞き手にもわかっていることですよね。このように、聞き手もすでにわかっている理由を言うときには、since を使って文のはじめに理由を述べます。



これに対して、I was absent from school yesterday because I had a cold. では、先週学校を休んだことは、話し手も聞き手もわかっていることですが、その理由が「風邪を引いていた」ことだったとは、聞き手にとっては初めて聞く新しい情報です。このように聞き手が知らない情報を伝えるときには、多くの場合、because を使って理由を伝え、新しい情報は文の後半にくるという英語の原則通り、because が導く文は文の後半にきます。



目的外的  
使用禁止